

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

音訳サークルかわせみ

活動エリア	市町村	活動内容	電話番号・FAX メールアドレス等
県中地区	須賀川市	広報すかがわの音訳ボランティア活動他、研修参加、利用者交流会等	Tel 0248-63-2205
構成	年齢	活動日時	会費
男性 2名	40歳代～75歳	毎月第3金曜日 例会、勉強会 毎月1回音訳校正チェック、編集作業等	年会費2,000円
女性 9名			
計 11名			

〈音訳ボランティアとは?〉

音訳サークルかわせみは、平成16年に須賀川市社協主催の「音訳入門講習会」修了生有志で立ち上げたボランティア団体だ。音訳とは、視覚障がい者のために書籍や広報誌などの内容を、音声にして伝えること。録音された図書は視覚障がい者が情報を得るために利用するので、朗読と違い、内容が正しく伝わることを優先し、書いてあることを書いてある通りに読まなければならない。

〈音訳技術の向上、保持の努力〉

会では須賀川市社協広報誌「社協だより」や須賀川市広報誌「広報すかがわ」、選挙公報などを中心に音訳している。また、個人からの音訳依頼も随時引き受けている。毎月勉強会を開き、会員同士で音訳の合評をしたり、研修会に参加したりするなど会員の音訳技術向上、保持の努力も欠かさない。現代代表の山田 勇氏は「私たちの活動をもっと知ってもらい、より多くの視覚障がい者に音訳広報等を利用してほしい」と話した。



例会では、音訳した広報誌の読み方復習や、様々な資料の読み方合評会を行っている。積極的に意見交換され、熱心な様子が伝わる。



自宅でマイクを使いパソコンに音声を収録後、データを持ち寄り、校正確認や編集作業を行う。録音図書はCD化されるが、テープ収録の場合もある。



今回お話を伺った代表の山田 勇氏。

白河民謡馬喰節保存会

活動エリア	市町村	活動内容	電話番号・FAX メールアドレス等
県南地区	白河市	白河馬喰節の伝統文化保存伝承活動、ボランティア活動	Tel 080-5226-8885
構成	年齢	活動日時	会費
男性 1名	60代～80代	毎月第2・4月曜日 例会(白河中央公民館)その他イベント等 不定期活動	月会費1,500円
女性 9名			
計 10名			

〈白河に伝わる伝統文化〉

白河民謡馬喰節保存会は、白河に伝わる「馬喰節」という民謡と踊りを保存、継承する活動に昭和38年から取り組んでいる。藩政時代から馬で有名な奥州最南端の市場として全国に名をはせた「白河馬市」だが、農耕馬の減少とともに昭和38年9月に終了した。これを機に歴史ある馬市と馬喰節の文化保存を志した有志により会が発足。現在は、歳時・観光イベントや福祉施設での慰問活動などで馬喰節の唄と踊りを披露している。

〈文化継承に臨む使命感〉

馬喰節とは、関東の馬の仲買商人が仔馬を連れて帰るとき、なだめるため仔馬をひきながら唄った民謡のこと。後に唄に合わせ踊りも振付けられ、当時の馬を引く動きなども踊りの中に再現されている。唄と踊りの指導も行う現会長の鈴木光子氏は「長年唄われてきた白河馬喰節という文化を後世にも継承することが使命です」と意気込みを話した。入会に関する問合せは、会長まで。



白河市の伝統文化である馬喰節の保存と後世へ伝えることを使命とし、様々な歳時・観光イベントや慰問先で馬喰節の唄と踊りを披露している。



馬喰節の唄に合わせ、木製の小道具で馬の歩行の音も再現し、リズムカルにその音を刻む。



今回お話を伺った皆さん。馬喰節の唄、踊りの指導に当たるのは会長の鈴木光子氏。(写真前列右側)

FDC舞夢(フォークダンススクラブまいむ)

活動エリア	県中地区	構成	男性	女性	計
市町村	須賀川市	年齢	3名	20名	23名
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL 0248-94-8366 TEL 090-4040-7874	活動日時	毎週木曜日 例会：10時～12時 (毎月第4木曜日は昼食持参で15時まで) 各種研修会参加等		
活動内容	フォークダンス	会費	月会費500円		

〈世界各国の民俗舞踊〉

FDC舞夢(フォークダンススクラブまいむ)は、平成19年7月に須賀川市フォークダンス協会の昼の部講座として独立発足し、今年で9年を迎える。日本において踊られるフォークダンスは欧米のものが多いが、1400曲以上あるのレパートリーには、トルコやイスラエル等の中近東アジアの曲もある。毎年開催される新曲研修会には参加できる人が受講し、会に持ち帰り指導する他、練習曲の選曲や曲の準備まで会員自らが主体的に活動している。



この日は定期練習で、休憩をはさみながら14曲を踊りこんだ。初心者でも簡単に踊れる曲から難しい曲まで振付は様々だという。



公益社団法人フォークダンス連盟の研修を受けた会員が新曲の振付指導に当たる。研修は、参加できる会員が受講するため、曲によって指導する会員が異なる。

〈皆と得られる一体感〉

フォークダンスは、音楽に合わせて体を動かす楽しさや、ダンスを1曲踊り切る達成感だけでなく、みんなが同じダンスを楽しく踊ることで一体感が感じられ、仲間作りにつながることも魅力だといふ。

会長の薄井美恵子氏は「フォークダンスをもっとたくさんの方に楽しんでほしい」と話した。6月に初心者講習会を開催予定。受講、入会に関する問合せは、会長まで。



会長の薄井美恵子氏(写真中央)と今回フォークダンスの指導に当たった土井みよ氏(写真左)、事務局長の河野百合子氏。(写真右)

松徳詩吟クラブ

活動エリア	県北地区	構成	男性	女性	計
市町村	福島市	年齢	10名	0名	10名
電話番号・FAX メールアドレス等	TEL 024-557-6754	活動日時	毎週金曜日 例会：13時～16時 年2回(9月・2月)許證伝達式と発表会、その他各種大会、研修会等		
活動内容	(公社)日本詩吟学院認可福島岳風会 信達支部所属岳風流統詩吟	会費	月会費1,500円		

〈上達を目指して〉

松徳詩吟クラブは、福島市で活動している詩吟クラブで今年で25周年を迎える。岳風会に所属し、毎年2月と9月に昇段試験に合格した会員へ認定証を授与する「許證伝達式」を行い、その後サークル内で発表会を開催している。仲間内とはいえ人前で独吟することで、度胸をつけ舞台慣れすることを目的としており、年2回開催される岳風会主催の吟道大会に向けた訓練にもなっている。



この日は(公社)日本詩吟学院岳風会による吟詠技量審査に合格した会員に贈られる段位等の許證(認定証)伝達式が行われた。



伝達式後開催された詩吟発表会は、仲間同士で行うもので、外部大会出場に向けた訓練にもなっている。



今回お話を伺った皆さん。詩吟の指導に当たるのは師範の服部朗岳氏。(写真前列左から2番目)

〈詩吟の楽しさとは〉

詩吟は、漢詩や和歌などに伝統的な節をつけ詠うものだが、精神と健康の維持に役立ち、教養がたく。独特の発声法が腹式呼吸で健康に良く、ストレス解消に役立つうえ、漢詩や和歌に親しむ機会ができ、歴史上の出来事や人物にも興味が広がるという。

現会長の長谷川良岳氏は「詩吟の良さを広め、会員を増やし、会の活動を継続していきたい」と話した。入会に関する問合せは、会長まで。

シニア団体活動支援事業の登録団体を募集しております

—いきいきと活躍するシニアサークル・団体の登録をお待ちしております—

●活動紹介してみませんか？

いきいきと活動している県内のサークルや団体の活動状況を本会ウェブサイトや本チラシでご紹介します。

●対象となるのは？

シニア世代が中心となって活動されているサークル・団体様(年齢構成、活動内容、法人格の有無は問いません)

●参加方法は？

この事業は登録制で、登録は無料です。年度途中からの参加も可能です。登録のご案内やご不明な点がある場合は、本会に直接お問合せ下さい。

●発行元・問合せ先 福島県社会福祉協議会 いきいき長寿課

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地 福島県総合社会福祉センター3階
TEL (024) 524-2224 FAX (024) 524-2228